



令和5年度 第2回 新栄高等学校学校運営協議会 議事録

開催日：令和5年9月9日（土）10:30～11:15

議 題：翌檜祭視察及び新栄高校のこれからの在り方についての意見聴取

出席者：学校運営協議会委員7名 校長、副校長、教頭、事務長

○新栄高校のこれからの在り方についての意見聴取

	意見・質問・感想等
委員 A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動の成果をホームページで積極的に発信していくことはよいことである。高大連携イベントへの参加者数増を目指し、引き続き活性化に努めたい。</li> <li>・生徒が生き生きと楽しみながら文化祭に取り組んでいるのを見て取れた。生徒が様々な企画に携わることは、大きな学びになるであろうと感じた。</li> </ul>
委員 B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の制服変更が落ち着いた学校環境に繋がっていると聞いた。今後も学習、部活等に集中できる環境整備を進めて欲しい。</li> <li>Q：みどり支援学校新栄分教室と新栄高校の交流の機会はどのように図られているのか。</li> <li>A：体育祭、文化祭、避難訓練等の学校行事で合同参加する機会がある。</li> </ul>
委員 C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インクルーシブ教育、多文化教育等の推進と生徒の活動の機会確保が図られていてよい。</li> <li>・みどり支援学校新栄分教室生徒のSDGsの取組が素晴らしく、1つ1つのテーマにしっかりと向き合った展示を見ることができた。</li> </ul>
委員 D	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多文化教育を推進する上で、教育活動の成果を地域に積極的に発信していくことは、外国籍生徒の自己肯定感の向上につながる。学習に対するモチベーションが向上すれば、生活の質の向上にもつながる。放課後日本語支援活動を今後も継続し、生徒の公私にわたりサポート活動を継続したい。</li> <li>・在県枠生徒が中心となった「多文化の部屋」があれば、活躍の場が広がる。</li> </ul>
委員 E	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校の多様な取組について知ることができた。</li> <li>Q：修学旅行の目的や方面について教えて欲しい。</li> <li>A：沖縄方面で民泊と個々の希望に合わせたオプションツアーを実施している。</li> <li>・生徒が生き生きと楽しそうにしていた。高校生活の良い思い出になることを願っている。</li> </ul>
委員 F	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA会長としてPTA活動の活性化に日々尽力している。</li> <li>Q：支援者教育の在り方について、今後どうなっていくのか。</li> <li>A：国や県の施策に沿って推進していく。</li> </ul>
委員 G	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みどり支援学校新栄分教室の生徒と新栄高校の生徒が、自然になじんでいる。現在、みどり支援学校新栄分教室の生徒たちは新栄高校とも連携し、総合的な探究の時間で「多文化」について学習し、その成果を作品制作という形で、10月1日の地域イベントで発信していく予定である。今後も異校種間連携を推進したい。</li> <li>・翌檜祭で本校生徒が自信を持って発表する場を設けてくれたことに感謝する。</li> </ul>

第2回地域連携部会 11:00～11:15

☆学校より

- ・夏期講習「初級韓国語」を初めて企画し、韓国世宗特別自治市にある宗村高等学校の生徒とZOOMで交流し、日本語、韓国語、英語を駆使して両国文化、学校生活等について理解を深めた。
- ・日頃の英語教育の検証と異文化理解の深化を目的として、夏期講習「ボツワナ大使館訪問」を企画した。生徒たちは一等書記官との英語質疑応答に臨み、ボツワナに関する理解を深めた。
- ・10月1日の仲町台地区センター、ノースポートモール、10月7日東京横浜独逸学園へのイベント周知及び令和5年度コミュニティースクール説明会への参加要請